

第 38 回九州放送コンテスト派遣決定

11月11日に行われた第40回沖縄県高等学校総合文化祭校内放送活動研究大会で、朗読部門に出場し上位入賞を果たした當山陸君(2-4)、知念瞳さん(1-1)が12月14日から16日の間大分県別府市で開かれる九州放送コンテストへの派遣推薦が決定しました。

2年生の當山君は「派遣が決定したときは嬉しさと驚きを同時に感じました。これまで、この派遣が欲しくて頑張ってきましたが自分一人の力で手に入れたものではありません。互いに競い合い協力してきた同じ放送部の仲間たちがいてくれたからこそ掴むことができた派遣です。努力する仲間たちから受けた刺激や自分で考え悩んだ時間は何一つ無駄ではありませんでした。この九州大会で立派な結果を残して沖縄に帰ってきたいです。仲間たちを誇りに思うとともに自分ももっと成長できるようにこれからも頑張ります」とありました。



1年生の知念さんは「まさか自分が選ばれるとは思っていなかったのですが、本当に驚きましたが、とても嬉しかったです。私は声がキレイな方ではないので、読み方に工夫を凝らして精一杯頑張りました。応援してくれたすべての人々への感謝の気持ちを忘れずに大分でもできるだけ良い成績を残していきたいです」とありました。

放送部の皆さんは、年2回の全国派遣がかかるコンテストへの訓練と、日常的な学校行事等での活動(アナウンス、撮影、映像制作、放送関連機器の操作、メンテナンス等)などをこなすスーパーな人たちです。特に学校行事での活動は成功して当たり前という厳しいプレッシャーの中で私たち教員や生徒の皆さんに迷惑がかからないよう、縁の下の力持ちで支えてくれているのです。

當山君には、校長室で私の手元にあった文章を初見即興で読んでもらいましたが、県代表の美声は絶妙な抑揚と“間”で耳を心地よく通り抜け、その余韻は数秒間の至福を私に与えてくれました。

知念さんは、当初放送には興味がなかったそうですが、中学生の頃学校説明会で活躍している本校放送部の活動に出会い入部を決めたそうです。

毎日の厳しいトレーニングとその結果としての快挙に心から拍手を送り、そして九州大会での活躍を期待します。